

令和2年度

武雄市教育委員会点検評価報告書

(令和元年度分)

武雄市教育委員会

## はじめに

武雄市教育委員会では、武雄市教育の現状と課題や、武雄市教育大綱「組む」の基本指針を踏まえ、「武雄市の教育」の基本目標として、

「幼児期からの子どもたちの知・徳・体を高く調和させる教育の推進」

「市民一人ひとりの生きがいを高める生涯学習の推進」

「明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造」

「豊かな学びを支える教育環境の整備」

「協働する市民総参加による教育の推進」

の5つを掲げ、各種の事務事業に取り組んできました。

一方、教育委員会が効果的な教育行政を推進していくためには、自らの活動を点検・評価し、公表することが重要です。

このため、平成19年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成20年度から毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況について、点検及び評価を行い、その結果を報告書として、議会に提出するとともに、市民の皆様へ公表することとされています。

これを受けて教育委員会では、令和元年度に実施した各種の事務事業が効率的かつ、有効的に行なわれてきたかを点検・評価し、課題や取組みの方向性について、点検評価報告書としてまとめました。

この点検・評価結果を、市民の皆様へ公表するとともに、今後の武雄市教育行政の一層の充実、推進へとつなげていきたいと考えています。

皆様のご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和2年9月

武雄市教育委員会

＜ 目 次 ＞

1 点検・評価に当たって	2
・令和元年度武雄市の教育 施策の体系	3
2 令和元年度の具体的施策、評価委員からの指摘事項・ご意見	
・意見書	4
・基本目標Ⅰ 幼児期からの子どもたちの 知・徳・体を高く調和させる教育の推進	7
・基本目標Ⅱ 市民一人ひとりの生きがいを高める生涯学習の推進	13
・基本目標Ⅲ 明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造	15
・基本目標Ⅳ 豊かな学びを支える教育環境の整備	16
・基本目標Ⅴ 協働する市民総参加による教育の推進	17

## 1 点検・評価に当たって

### 1 点検評価の対象

今回実施した点検評価の対象は、令和元年度武雄市の教育基本方針に基づき実施した学校教育関係、子育て関係、生涯学習関係、歴史・文化関係及び地域との連携等の各種事務事業を対象としました。

### 2 点検評価の方法

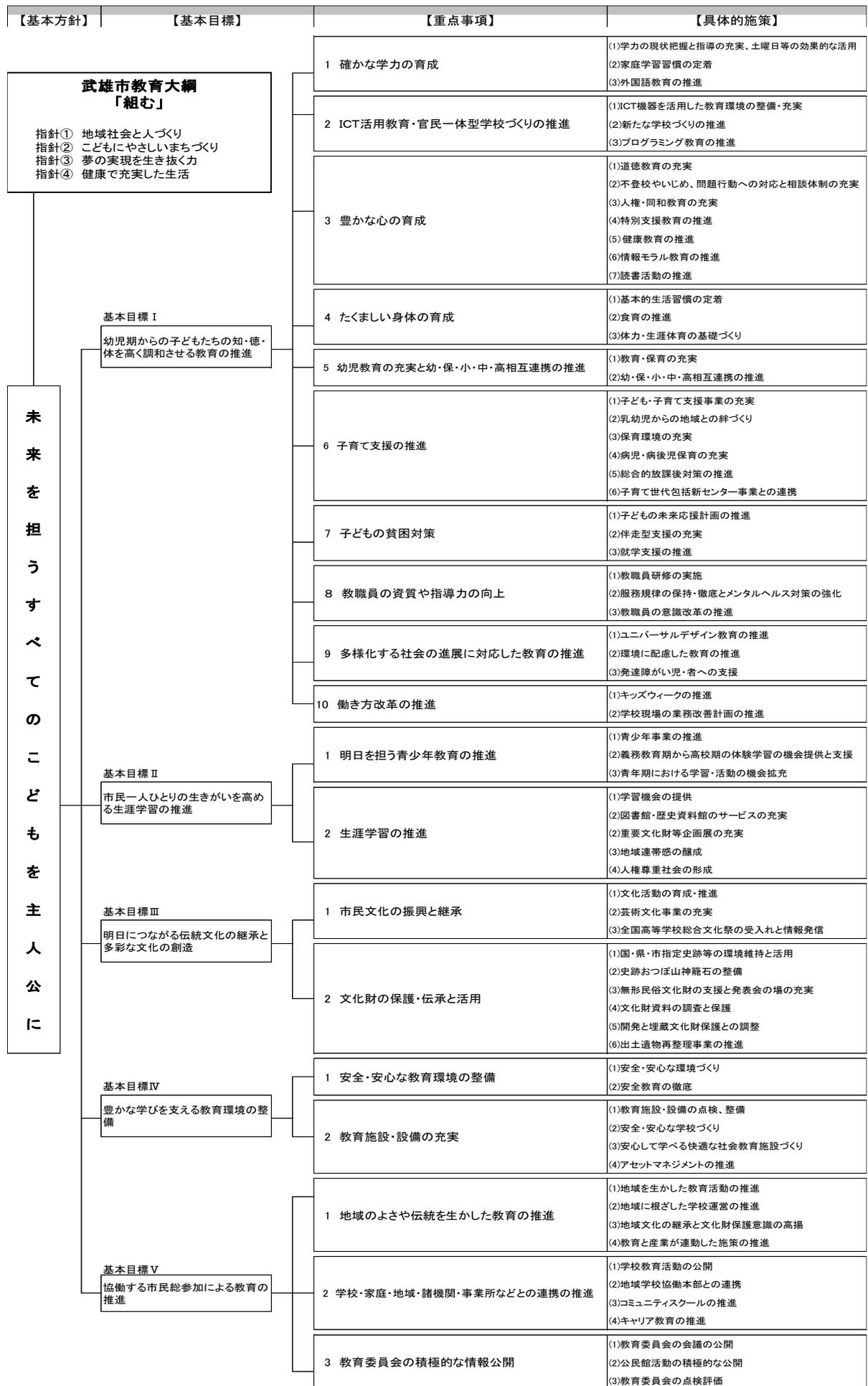
- (1) 点検評価に際しては、必要性、効率性、有効性、公平性等の観点から分析し、課題や問題点、今後の改善点について示すこととしました。
- (2) 点検評価に際し、その客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など5人で構成する教育委員会評価委員会を設け、様々なご意見、助言をいただきました。

評価委員会委員の方々は、次のとおりです。

委員長	甲斐  今日子
副委員長	江越  勝  幸
委員	後川  静  枝
委員	松尾  政  勲
委員	馬場  桂  子

(順不同、敬称略)

# 令和元年度 武雄市の教育 施策の体系



未来を担うすべてのこどもを主人公に

# 意 見 書

武雄市教育委員会は、令和元年度武雄市教育の基本方針として、子どもたちの生きる力を育むとともに、進展する社会に創意を凝らして対応し、文化の創造や産業の振興などの社会や地域の発展に貢献できうる心身ともにたくましい市民の育成を目指して、5つの基本目標を掲げ、各種施策に取り組まれています。

本意見書は、武雄市教育委員会が令和元年度に実施した教育委員会活動及び事務事業の自己点検・自己評価結果について、「武雄市教育委員会点検・評価シート」及び関連資料に基づいて、武雄市教育委員会評価委員会が評価したものです。

令和2年7月3日、17日及び31日の3回にわたり評価委員会を開催し、事務事業の目標、自己点検・自己評価の視点や方法の適切さ、目標の達成度に対する自己評価の適切さ、課題、改善策等について検討を行いました。

その結果、それらに対する評価委員会としての評価は、目標に対し達成していると判断しました。個々の事業に対しては、若干の意見を付していますので、今後の改善の参考にしてください。

市教育委員会においては、ICT活用などの様々な事業を展開しておられますが、令和元年8月の豪雨災害や元年度末からの新型コロナウイルス感染症流行拡大に伴う対応など新たな対応が求められており、事業の推進に向けて、次の点に留意していただくようお願いします。

- 子どもたちの学習状況調査の結果を分析し、学校及び市において、今後も引き続き、学力向上のさらなる推進に努めてください。
- ICTを活用した学習方法については、国によるICT活用の推進やコロナ禍でのオンライン授業、さらには登校できない子ども達へのICT活用など活用の幅が拡大しています。子どもたちにとって、また、教職員にとって最も効果的な方法を研究し、さらに推進してください。
- 子どもの安全・安心について、学校や地域との連携による子どもたちの見守り活動、また豪雨災害を受けての防災教育の実施など、引き続き子どもの安全・安心について積極的に取り組んでください。
- 教職員の働き方改革については、各学校でも工夫しながら取り組んでおられますが、引き続き勤務時間の適正化に向けた検証・取り組みを進めてください。

- 次世代を担う子どもたちが、環境に左右されることなく、どの子も育つことができるよう、福祉分野との連携など市全体として様々な支援策に取り組んでください。
- すべての市民に学びの機会を提供し、特に若い世代が活躍の場を拓げていくことができるような取り組みなど、豊かで生きがいのある生活を送ることができるよう、引き続き事業の推進に努めてください。

評価結果は、目標設定や次年度予算編成時期とのずれから、評価結果がすぐに次年度施策には反映されませんが、指摘事項については、年度にとらわれず、速やかに検討してください。

教育行政を取り巻く環境は、日々変化しています。武雄市教育委員会が、教育行政を取り巻く環境の変化を的確に把握するとともに、今回実施した点検・評価を踏まえ、今後の武雄市教育行政の一層の充実・発展に取り組まれることを願っています。

令和2年7月31日

武雄市教育委員会  
教育長 松尾 文雄 様

武雄市教育委員会評価委員会  
委員長 甲斐 今日子 

教育委員会評価及び評価委員評価一覧表（令和元年度）

項 目		評価委員 評価
I-1	確かな学力の育成	A
I-2	I C T活用教育・官民一体型学校づくりの推進	A
I-3	豊かな心の育成	A
I-4	たくましい身体の育成	A
I-5	幼児教育の充実と幼・保・小・中・高相互連携の推進	A
I-6	子育て支援の推進	A
I-7	子どもの貧困対策	A
I-8	教職員の資質や指導力の向上	A
I-9	多様化する社会の進展に対応した教育の推進	A
I-10	働き方改革の推進	A
II-1	明日を担う青少年教育の推進	A
II-2	生涯学習の推進	A
III-1	市民文化の振興と継承	A
III-2	文化財の保護・伝承と活用	A
IV-1	安全・安心な教育環境の整備	A
IV-2	教育施設・設備の充実	A
V-1	地域のよさや伝統を生かした教育の推進	A
V-2	学校・家庭・地域・諸機関・事業所などとの連携の推進	A
V-3	教育委員会の積極的な情報公開	A

評価 4 段階	A	達成	80%以上
	B	ほぼ達成	50～79%
	C	やや不十分	20～49%
	D	不十分	19%以下

基本目標 I 幼児期からの子どもたちの知・徳・体を高く調和させる教育の推進

【重点事項 1】確かな学力の育成

具体的施策	主要事業名	自己評価		評価委員の評価	
		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 学力の現状把握と指導の充実、土曜日等の効果的な活用					
①学習状況調査などの結果を分析し、指導方法の工夫・改善に努めるとともに、前年度正当率を上回るよう指導の充実を図ります。	・全国・県学習状況調査の正答率の向上 ・土曜日等の開校による授業日の確保	B	A	◆中学校2年生において成果が上がっていることは評価できる。 今後は、市全体の平均値を分析する方法を取り入れた方がいいのではないか。次の目標値を決める際に検討していただきたい。 ◆授業時間の充実が大切で、分かる授業の展開を考えるべき。教師の頑張りを期待する。	A
②土曜日等の効果的な活用を図ります。	・放課後等補充学習支援事業	A	A		
(2) 家庭学習習慣の定着					
①学年に応じた家庭学習目標時間を設け、家庭学習の習慣を身につさせます。	・家庭学習目標時間の設定 ・タブレット端末を利用した家庭学習習慣の定着	A	A	◆学校と家庭の行き帰りだけにならないように、家庭で各人が調べたり、聞いたりするような宿題等を、今後も引き続き実施していただきたい。 ◆子供に対する親の関りが問題であり指導が必要と思われる。 ◆タブレット端末を使ったスマイル学習という武雄独特の方法をより高めてほしい。	A
②スマイル学習（武雄式反転授業）の活用		A	A		
(3) 外国語教育の推進					
・A L T の活用、小学校での外国語活動などを推進します。	・A L T 活用による外国語活動及び英語科授業の補助	A	A	◆指導力向上に向けた研修を今後も継続していただきたい。	

【重点事項 2】ICT活用教育・官民一体型学校づくりの推進

具体的施策	主要事業名	自己評価		評価委員の評価	
		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) ICT機器を活用した教育環境の整備・充実					
・電子黒板やタブレット端末、学習支援システム等を活用した授業により学習意欲の向上と学力向上を目指します。	・電子黒板やタブレット端末の活用促進 ・学習者用デジタル教科書の活用 ・「スマイル学習（武雄式反転授業）」の活用 ・ICT教育推進員の配置（16名） ・学習支援システムの充実	A	B	◆今回のようなコロナ対応等の休校時には、タブレットを持ち帰るなどぜひ活用していただきたい。 ◆先生の能力向上。全校推進員配置。それ以外の先生のスキルアップを進めていただきたい。 学習意欲・学力向上が目的の導入であるので、今後はそのような視点で成果を分析していただきたい。 ◆ICT活用については、年令や関心の有無によって差があり、苦手な先生にとっては、ストレスになり、仕事の効率も悪くなるように思われる。教材等を教育委員会で作って各校に配信する等、支援を進めていただきたい。 ◆電子黒板の活用はどことも上手に取り入れてると思われるが、タブレットの活用が各学校、学年によりばらつきがないよう努めていただきたい。	A
(2) 新たな学校づくりの推進					
・公立学校に「民」のノウハウや活力を融合させた新しい学校づくりで、21世紀を生き抜く力を育む教育を推進していきます。	・官民一体型学校の推進 ・花まる学習会からの講師派遣（2名常駐） ・地域支援員の充実（H30動員数：14,377人）	A	A	◆朝15分程度、地域支援員が見守る中で、クラス全員でバスルや四字熟語の発声、読み書きをすることはモーニングアップとして大変良い。 ◆若木小では、爺ちゃん・ばあちゃんの日を設けて、花まる学習の活性化を図っている。 ◆花まる学習で地域の人を巻き込むことで、他の面でも地域との連携が取りやすくなると思う。是非、実施する学校を増やして欲しい。	
(3) プログラミング教育の推進					
・プログラミング教育に低学年から取り組むことにより、ICTスキルや創造性の向上、論理的な思考力等の育成を目指します。	・タブレット端末、Pepperを活用したプログラミング教育の推進	A	A	◆今後とも推進していただきたい。	

【重点事項 3】豊かな心の育成

具体的施策	主要事業名	自己評価		評価委員の評価	
		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 道徳教育の充実		B	B	<p>◆小学校の保護者の参加率が82.7%というのは高く評価できる。問題は中学校の参加率であるので、今後はPTAと学校とで連携して対応していただきたい。</p> <p>◆小学生の時は子どもも参観に来て欲しいと言葉で言うので、仕事を休んでも行くけれど、中学生になると来てほしくないからお知らせを見せない子どももいると聞く。それでも、昨年度は参加率が上がっているのは、学校、PTAの活動の賜物と思う。是非、これからも参加率向上に努めていただきたい。</p>	A
<p>・全学校において道徳の時間の充実に努め、保護者へ授業を公開します。</p>	<p>・ふれあい道徳の実施（道徳の授業公開）</p>				
(2) 不登校やいじめ、問題行動への対応と相談体制の充実		A	A	<p>◆不登校生徒の親への関りへの支援を考えていく必要があるのではないと思われる。</p>	
<p>①学校・家庭・地域等が連携して、「いじめ」「不登校」「問題行動」への早期対応や教育相談の充実に取り組み、未然防止に努めます。</p> <p>②不登校児童生徒を減らすため、目標を設定し、関係機関が連携した取組みを進めます。</p> <p>③法の整備に伴い、武雄市「いじめ対策条例」を作成し、いじめの根絶を図ります。</p>	<p>・訪問相談員配置事業(3人配置)</p> <p>・学校適応支援教室「スクラム」事業を利用した不登校対策の実施</p> <p>・いじめ対策基本方針に基づく「いじめ」の根絶</p>				
(3) 人権・同和教育の充実					
<p>・人権・同和教育への理解を深めるため、積極的に校内外での研修に参加し、指導の充実に努めます。</p>	<p>・県、市が開催する研修会への積極的な参加</p> <p>・校内研修会の実施</p>				
(4) 特別支援教育の推進		A	A	<p>◆今後もきめ細やかな指導・支援の取組を継続してほしい。</p>	
<p>・学校生活支援員を配置し、支援を必要とする児童生徒に対して、きめ細かな指導、支援を行います。</p>	<p>・学校生活支援員配置事業の実施</p>				
(5) 健康教育の推進		A	A	<p>◆今後とも関係機関との連携を図り、推進していただきたい。</p>	
<p>・性教育、防煙教育、がん教育、薬物乱用防止などの健康教育を保護者、地域と一体となって取り組みます。</p>	<p>・性に関する授業の実施</p> <p>・防煙教室の開催（小6、中1）</p> <p>・がんの教育講演会開催（武雄中、武雄北中）</p> <p>・薬物乱用防止教室授業の実施</p>				
(6) 情報モラル教育の推進		A	A	<p>◆今後ともさらに力を入れて「情報モラル」を推進していただきたい。</p>	
<p>・情報機器の取り扱いについて、児童生徒が適切な対処ができるよう情報モラル教育に取り組みます。</p>	<p>・年1回各学校で講座実施</p> <p>・情報モラルについて周知・徹底</p>				
(7) 読書活動の推進		A	A	<p>◆朝読書が実施されているのは素晴らしい。子ども達は学校が終わってもクラブ活動や塾等で忙しく、周辺部の子ども達は図書館まで来るのが大変だと思うので、団体貸し出しの方をより頑張ってください。</p>	
<p>①読書ボランティアの活用を通して、読書の楽しさを伝えます。また、全学校で読書活動を推進する取り組みを実施します。</p>	<p>・読書活動の推進</p> <p>・読み聞かせボランティアの活用</p>				
<p>②読書の楽しさと必要性を伝えながら読書意欲の向上を図ります。また、武雄市図書館との連携と活用を推進します。</p>	<p>・小中学校と武雄市図書館との連携</p>				

**【重点事項 4】 たくましい身体の育成**

具体的施策	主要事業名	自己評価		評価委員の評価		
		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価	
(1) 基本的生活習慣の定着						
・保護者との連携・協力により、「早寝・早起き・朝ごはん運動」を推進し、基本的生活習慣を身に付け、食の質を向上させる取組みを進めます。	・早寝、早起き、朝ごはんの推進	A	A	◆以前、朝食をとってきていない子どもと出会ったことがある。ご飯が出来ていなかったと聞いた。お腹が空いていると先生の話も耳に入らないと思う。年々摂取率が上がっているのはとても評価できる。 ◆朝食は食べてきているが、その内容についての詳しい調査を実施していただきたい。	A	
(2) 食育の推進						
①学校給食の指導を充実させ、「食」の自己管理能力や望ましい食習慣の定着を目指し、食育の充実に積極的に取り組みます。	・「弁当の日」事業の推進 ・食に関する授業の実施 ・全小中学校での食育への積極的な取組み	A	A	◆弁当の日、「たけおの食の日」をこれからも推進していただきたい。		
②「たけおの食の日」などを通じて、ふるさとの食材の素晴らしさを児童生徒に伝えます。学校給食での県産物の利用促進を図ります。	・学校給食での県産食材の利用	A				
③自校方式学校給食の充実						
(3) 体力・生涯体育の基礎づくり						
・体力テストの結果等を踏まえ、体力向上に努めます。	・体力テストの結果の分析と活用 ・スポーツチャレンジの充実	A	A	◆遊びの中で体力はできていく。その時間が少なくなってきた。		

**【重点事項 5】 幼児教育の充実と 幼・保・小・中・高相互連携の推進**

具体的施策	主要事業名	自己評価		評価委員の評価		
		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価	
(1) 教育・保育の充実						
・乳幼児期の重要性や特性を踏まえ、発達に応じた質の高い教育・保育を提供します。	・保育所、幼稚園、認定こども園等へ教育・保育に係る経費の給付 ・障害児保育事業	A	A	◆多様化するニーズに対応できるよう、内容の充実に努めてほしい。	A	
(2) 幼・保・小・中・高相互連携の推進						
・中学校による出前授業、小・中連絡会などを行い、小中の連携・強化に取り組みます。また、高校生との連携を推進します。	・小中連携教育活動の実施 ・高校生ふれあい事業	B	A	◆高校との連携についても推進していただきたい。		
・幼・保・小連携に関する具体策を年間計画に盛り込み、計画的に推進します。	・幼・保・小の連絡会、交流会の開催 ・幼・保・小相互での授業参観交流	A				
・園児・中学生・高校生・支援者の学び・連携の強化に取り組みます。	・育ちあい講座	A			◆今後とも継続・充実に努めてほしい。	

【重点事項 6】子育て支援の推進

具体的施策	主要事業名	自己評価		評価委員の評価		
		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価	
<b>(1) 子ども・子育て支援事業の充実</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての家庭が安心して子育てができるよう、様々な社会環境の変化に対応した子育て支援を充実します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者支援事業（基本型）</li> <li>延長保育事業</li> <li>一時預かり事業</li> <li>ファミリーサポートセンター事業</li> <li>病児・病後児保育事業</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子育て支援については、大変充実していると思われる。今後も推進していただきたい。</li> </ul>	A	
<b>(2) 乳幼児期からの地域との絆づくり</b>						
<b>①保護者の学習機会の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での教育力向上のため保護者のニーズにあった支援をします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤ちゃんひろば</li> <li>親子リフレッシュタイムの開催</li> <li>子育て講演会</li> <li>マタテイコガ &amp; 胎教ハステルアート</li> </ul>	A		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆初めて子育てをする人にとってとても大事な事業である。こういう講座を通して子育ての楽しみを知り、ゆったりとした気持ちで子育てをしてほしい。</li> </ul>		
<b>②子育て支援者の質の向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの健やかな発達を支援するため支援者の質の向上や、保護者支援について研修します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサポーター等養成講座</li> <li>子育てサポーター定例研修、ファミリーサポーター研修、抱っこボランティア研修</li> <li>放課後児童クラブ支援員・補助員研修</li> </ul>	A		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子育て支援の充実に一層努めてほしい。</li> </ul>		
<b>③地域の子育て支援の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援者交流会の実施、地域の子育て親子の交流・支援、情報提供をします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援者交流会の開催</li> <li>各公民館等での子育てひろば開催（地域ひろば）</li> <li>赤ちゃん登校日開催（武小、山中、北方中）</li> <li>おひさまフェスタ、たけお子どもフェスタ開催</li> <li>三世代交流</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子育て支援の充実に一層努めてほしい。</li> </ul>		
<b>④ブックスタート(おひざでよんで！)事業の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳児（4ヶ月児）を対象に、絵本を通して親子の心の交流を深め、心安らく時間を共有してもらうよう支援します。</li> <li>ボランティア、市関係部局と連携し、子育て支援を充実します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、こども図書館で読み聞かせ、絵本のプレゼントを実施。</li> <li>保健師、保育士等の出張相談窓口を設置。</li> </ul>	A		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆今後とも推進していただきたい。</li> </ul>		
<b>(3) 保育環境の充実</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内における保育・教育施設の質の向上と多様化する保育ニーズに対応します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士等就職支援補助</li> <li>合同求人説明会</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆本事業は、保育士不足への対応として重要である。34名の就職につながったことは高く評価できる。今後は、定着率の検証とともに、長く働くことができるよう支援していただきたい。</li> <li>◆情報誌等によると、保育士の確保が難しい自治体があると聞いている。その点、達成度100%は素晴らしい。是非、頑張ってください。</li> </ul>		
<b>(4) 病児・病後児保育の充実</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>病児・病後児保育施設の利用促進を図り、就労等でお困りの保護者の負担を減らします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病児・病後児施設の周知、利便性の向上</li> <li>利用時間の変更</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆大変高く評価できる。今後も推進していただきたい。</li> <li>◆仕事を持つ親にとって子どもの病気は対応がとても大変。その点、武雄市では病後児保育をされていること、とてもすごい。これからも保護者への周知を図っていただきたい。</li> </ul>		
<b>(5) 総合的放課後対策の推進</b>						
<b>①放課後子ども総合プランの推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童クラブの実施</li> <li>放課後子ども教室の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童クラブの実施</li> <li>放課後子ども教室の実施</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆支援員等の確保に努め、安全・安心な環境づくりに努めてほしい。</li> </ul>		
<b>②全ての就学児童が放課後等を安全安心に過ごし、多様な体験・活動を行えるよう進めます。</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>一体型放課後児童クラブ・子ども教室の実施</li> <li>連携型放課後児童クラブ・子ども教室の実施</li> </ol>					
<b>(6) 子育て世代包括支援センター事業との連携</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代包括支援センターを、健康課と子育て総合支援センターに設置し、妊娠期から関係機関との連携を図りながら切れ目のない支援を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者支援事業（母子保健型）</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆今後とも切れ目ない支援で、きめ細やかな対応をお願いしたい。</li> </ul>		

【重点事項 7】子どもの貧困対策		自己評価		評価委員の評価		
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価	
(1) 子どもの未来応援計画の推進						
・次世代を担う子どもたちが、環境に左右されることなく、教育機会の均等を図るため、実態把握と必要に応じた対策を行います。	・子どもの未来応援計画の推進	—	—	◆貧困問題は様々な問題が複雑に重なる重層的問題であり、課題山積しており多様な対策が求められる、という課題を受けて、今後どのように進めていくかの検討と具体的な対応策を進めていただきたい。	A	
(2) 伴走型支援の充実						
・子どもの成長段階に合わせ、妊娠・出産期から小学校期など、早い段階から長期的・継続的な支援を行うことにより、子どもの貧困の解決と予防を推進します。	・こどもの笑顔コーディネーターによる支援の拡充	A	A	◆今後とも支援の拡充につとめていただきたい。		
(3) 就学支援の推進						
・就学に際し、経済的に厳しいご家庭に対する就学支援を拡充し、学びやすい環境づくりを目指します。	・就学支援制度の拡充（高校入学時期に対する支援金補助）	A	A	◆今後とも推進していただきたい。		

【重点事項 8】教職員の資質や指導力の向上		自己評価		評価委員の評価		
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価	
(1) 教職員研修の実施						
・教職員の自主的研修の推進及び支援を行い教師の指導力向上に努めます。	・初任者研修等時期に応じた研修 ・「わたしの教育実践」の作成 ・自主的な勉強会の推進	A A A	A	◆今後とも教職員の積極的な研修参加を推進してほしい。	A	
(2) 服務規律の保持・徹底とメンタルヘルス対策の強化						
①教職員としての職務上、身分上の義務の遂行に努めます。	・交通事故・体罰等の信用失墜行為の防止	A	A	◆今も昔も「職員の和」が取れているかいないかが学校運営を左右していたので、今後も「職員の和」がうまくいくよう努めて欲しい。		
②勤務時間の適正化を図り、教職員のメンタルヘルスの対策強化を図ります。	・毎週1回の定時退勤日の実施による時間外自発的勤務時間の縮減	A				
(3) 教職員の意識改革の推進						
①人事評価制度を活用し、教職員一人ひとりの個性や特性を伸ばし、信頼される教職員の育成を目指します。	・校長による指導とヒアリングの実施による意識改革	A	A	◆評価制度が平等にできるかどうか問題であり、教職員のやる気熱意に関係するかと思う。		
②教職員の情報教育に関する資質や指導力の向上に努めます。併せて、事務の共同実施を推進し、学校の活性化に努めます。	・学校運営支援室による帳簿指導・備品管理システムの実施	A				
③教育課程の編成を工夫し、教職員が子どもとふれあい、じっくり向き合う時間を確保するよう努めます。	・カリキュラム・マネジメントによる余剰時間の活用と会議時間・回数削減、平日の5時間授業日の実施による子どもと向き合う時間の確保	A				

【重点事項 9】多様化する社会の進展に対応した教育の推進		自己評価		評価委員の評価		
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価	
(1) ユニバーサルデザイン教育の推進						
・学校教育の中で、ユニバーサルデザインをテーマとして、他者を思いやる心など豊かな人間性を育む取り組みを、関係機関と連携して行い、その理解と普及、実践化に努めます。	・UDやバリアフリー、多様な性に関わる授業・学校行事の実施	A	A	◆家庭科や総合学習の時間での実施にとどまらず、多くの学びの機会を提供することが必要である。	A	
(2) 環境に配慮した教育の推進						
・節電、節水、リサイクルの周知や、学校内外の清掃作業等の取り組みを、関係機関と連携して行い、地球環境に配慮した指導・実践に努めます。	・環境教育の実施	A	A	◆家庭科や総合学習の時間での実施にとどまらず、多くの学びの機会を提供することが必要である。		
(3) 発達障がい児・者への支援						
・福祉と連携し、発達障がい児・者に対する支援を行います。	・発達障がいに関する部署を設置	A	A	◆R1年度は「専門部署の設置」が目標であったので、次年度以降はどのように機能させるのか、具体的な取り組みを進めていただきたい。 ◆発達障害に関する部署が新しく設置されたことはとても評価できる。保護者としてしっかり連携を取りながら、実施していただきたい。		

【重点事項 10】働き方改革の推進		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) キッズウィークの推進					
・「働き方改革」による「キッズウィーク」の推進に向け、市長部局と連携して取り組みます。	・キッズウィークの推進	B	B	◆継続することが大切。働き方改革により浸透が期待できる。	A
(2) 学校現場の業務改善計画の推進					
・教職員の時間外勤務の削減を実現するため、「学校現場の業務改善計画」を推進します。	・学校現場の業務改善計画の推進（教職員の勤務時間の把握・分析） ・部活動基本方針の徹底	A	A	◆中学校の部活についてはどのような配慮ができるのか検討が必要である。	

基本目標 Ⅱ 市民一人ひとりの生きがいを高める生涯学習の推進

【重点事項 1】明日を担う青少年教育の推進

具体的施策	主要事業名	自己評価		評価委員の評価	
		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
<b>(1) 青少年事業の推進</b>					
①学校・地域・家庭が連携した事業の推進 ・武雄市青少年育成市民会議（町民会議）を通して、地域・学校・家庭との連携強化を図り、青少年育成支援活動の推進と子どもたちの安全・安心な生活ができる地域環境づくりに取り組みます。	・各種防犯パトロール、こども110番の家事業の推進 ・地域環境点検、巡視活動の実施 ・「月に一度はファミリーデー」の周知及びファミリーデー標語の募集 ・「たけ推し“サア たけおっ子の出番です” たけおっ子の主張」の開催 ・広報誌「飛翔」の発行	A	A	◆子供の見守りについて、地域をあげて行われていることは高く評価できる。特に、ワンワンパトロールやウォーキングパトロール制度はユニークで参加もしやすく大変良いと思う。今後もぜひ推進していただきたい。	A
②青少年育成事業の啓発、保護者への学習機会の提供 ・地域の青少年育成事業の取り組みを発表することで青少年育成事業の啓発を行います。また、保護者のために学習機会の提供を行います。	・トムソーヤフェスティバルの開催 ・機関紙「ゆうぼぼ」の発行 ・子育て・親育ち講座の開催	B		◆今後とも推進していただきたい。	
<b>(2) 義務教育期から高校期の体験学習の機会提供と支援</b>					
①地域のリーダー育成 ・子どもたちの体験活動や地域間交流活動を通じて、学校や地域におけるリーダーの育成を行います。	・わんぱくスクールの開催（年10回） ・ジュニアリーダー育成研修会の開催（年3回）による技能の習得 ・武雄市・雄武町児童交流団派遣事業の実施	A		◆わんぱくスクールは先輩であるジュニアリーダーとの交流があり、とても素晴らしい事業だと思う。これからも是非続けていただきたい。	
②ジュニアリーダーの活動機会の充実 ・公民館等を通じて地域での活動の場を増やすよう努め、リーダーとしての意識を高めます。	・わんぱくスクールにおける児童の指導 ・子どもクラブ等へのジュニアリーダーの派遣	B		◆せっかくのジュニアリーダーの取り組みを、活躍の場を増やしてほしい。	
③子どもクラブ活動の充実と指導者の育成 ・市及び町の子どもクラブ連絡協議会の活動により、遊び活動や団体活動を通じた学びの場を創ります。	・各単位子どもクラブ独自の活動 ・市子どもクラブ連絡協議会における研修会の実施（KYT（危険予知トレーニング）講習会） ・各町子どもクラブ連絡協議会における安全講習会の実施（心肺蘇生とAED）	A	B	◆行事の精選が必要ではないかと思われる。	
④放課後子どもプラン推進事業の実施 ・地域社会の中で、子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進します。	・放課後児童クラブの実施 ・放課後子ども教室の実施	A		◆支援員の確保や研修の充実を図り、安全・安心な放課後児童クラブ、放課後子ども教室の実施に努めてほしい。	
⑤公民館における青少年講座の充実 ・公民館における子どもたちの体験学習や地域活動を推進します。	・発明クラブの実施 ・公民館における子ども対象講座の実施	B		◆今後とも推進していただきたい。	
⑥野外体験学習の充実 ・野外活動を通じて自然とふれあい、自然のもたらす恩恵を享受する場を提供することにより、青少年の健全育成及び市民の健康の増進を図ります。	・眉山キャンプ場、乳待坊キャンプ場の青少年事業での活用とこども団体への利用推進	B		◆オリエンテーリングコースや遊具(草スキー等)を整備したら青少年団体の利用が増えると思う。	
<b>(3) 青年期における学習・活動の機会拡充</b>					
①学習機会の提供・支援 ・多くの仲間との絆づくりができる学習機会の場を提供します。 ・経済的理由により大学等への就学が困難な者への支援を行います。	・サークルの育成、学習講座の実施 ・成人式の実施 ・奨学資金の貸与	A	A	◆今後とも推進していただきたい。	

**【重点事項2】生涯学習の推進**

		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
<b>(1) 学習機会の提供</b>					
①出前講座メニューの充実及び講座の実施 ・身近で分かりやすい充実した講座を提供します。	・学習ニーズにあわせた講座の実施 ・講座メニューの検討及び内容の充実 ・各種団体への講座の周知	A		◆今後とも講座の充実に努めていただきたい。	
②学習団体への支援 ・中央公民館サークルや各町のスポーツ、文化サークルへの活動場所の提供などの支援を行います。 ・高齢者の学習機会の提供や支援を行います。	・活動場所及び発表機会（公民館まつり、サークルフェスタ）の提供 ・武雄市民大学への支援 ・黒髪大学、延寿学級の実施	A	A	◆今後とも推進していただきたい。	
③公民館活動の充実 ・地域住民のニーズを反映した講座や地域の特色を活かしたイベント等を実施します。 ・地域支援員を配置し、自治公民館や各種団体の活動の支援を行います。	・公民館講座の充実 ・自治公民館、各種団体の支援	B		◆今後とも地域支援員の協力のもと活動の充実を図っていただきたい。	
<b>(2) 図書館・歴史資料館のサービスの充実</b>					
①図書館・歴史資料館のサービスの向上 ・市民価値の高い図書館サービスの充実を図り、来館者、図書貸出等の増を目指します。 また、各種講演会をはじめ司書講座、古典講座、古文書講座等を実施し、その充実を図ります。 ・「こども図書館」では、絵本や遊びを通じた学びと交流の場づくりに努めます。	・各種講演、講座、イベント等の充実 ・県内公共図書館相互貸借システム、物流システム活用の推進 ・レファレンス業務の充実 ・子ども向け講座、読み聞かせ等の充実 ・親子の「学びの場づくり」	A	A	◆こども図書館を中核とした武雄市の取り組みとして高く評価できる。今後も推進していただきたい。 ◆新型コロナ対策については国や日本図書館協会の基準で運用されているので今後も進めていただきたい。	
②図書館・歴史資料館企画展の充実 ・武雄の歴史・文化・伝統など、歴史的特性を紹介し、郷土武雄について再認識・再発見してもらうために、企画展を開催します。 ・また、企画展資料を中心に、HPで紹介したり、ギャラリートークを開催するなど広報活動に努めます。	・企画展の開催 ・市報、ケーブルテレビ、図書館だより、HP、ポスター、パンフレット等による広報活動	A		◆引き続き工夫した取り組みを進めてほしい。	A
<b>(3) 重要文化財等企画展の充実</b>					
・国重要文化財の武雄鍋島家洋学関係資料を活用し、定期的な展示を計画します。	・武雄鍋島家洋学関係資料保存活用計画の策定に向けた取組 ・武雄鍋島家洋学関係資料展示	A	A	◆武雄には素晴らしい文化財があると聞いている。素晴らしい展示館もあるので、企画展示をよろしく願いたい。	
<b>(4) 地域連帯感の醸成</b>					
①多世代交流の促進 ・地域行事への幅広い年代層の参加を勧め、豊かで、安全安心な地域づくりを推進します。	・地域教育力活性化事業（地域活動の日、地域コミュニティ育成事業、通学合宿等）の実施 ・地域イベントの実施	B	B	◆多世代の参加は難しい問題であるが、今後とも地域づくりに推進してほしい。	
<b>(5) 人権尊重社会の形成</b>					
①市民や企業・団体などを対象とした啓発活動の推進 ・人権問題学習会や出前講座を開催し、人権・同和問題についての正しい理解・認識と自らの課題として意識向上を目指します。	・人権問題学習会の開催 ・出前講座における人権啓発	A		◆継続して人権啓発活動を推進してほしい。	
②「人権フェスタinたけお」の開催と参加奨励 ・「人権フェスタinたけお」の内容を充実し、人権啓発に努めます。	・人権フェスタの開催	A	A	◆R1の水害の経験を通して、必要だと考えられたものと思う。テーマ「災害と人権」として、発展的に対応されているのが大変良いと思う。事業実施後の検証がなされていることを評価できる。	
③学校人権・同和教育との連携 ・市内小・中学生から人権標語を募集し、幼少期からの人権意識の醸成に努めます。	・人権標語の募集・入選作品の表彰 ・標語ステッカーの作成・配付	A		◆今後とも人権意識の向上・醸成に努めていただきたい。	

基本目標 Ⅲ 明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造

【重点事項 1】市民文化の振興と継承		自己評価		評価委員の評価		
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価	
(1) 文化活動の育成・推進						
①武雄市文化連盟に属する各種文化団体の活動を支援し、文化会館・山内改善センター・北方公民館を主会場に文化祭や美術展覧会を開催します。 ②弁論大会を開催し、子どもたちに自分の意見や体験発表の場を設けます。 ③こどもあーとDEスマイルオフィスを実施し、子どもの夢や個性・能力を知ってもらい、地域の方々に子どもたちと市民の交流を通じて、地域の活性化を図ります。 ④H30に作成した副読本を活用し、児童生徒へ郷土の誇る歴史を紹介します	・たけお芸術祭の開催 ・公募美術展覧会の開催 ・たけおっ子の主張（青少年育成市民会議との共同開催） ・こどもあーとギャラリー ・副読本の活用	A	A	◆今後とも多くの市民が文化行事に参加できるよう推進していただきたい。	A	
(2) 芸術文化事業の充実						
①公募により図書館・歴史資料館の企画展示室を個人・団体に貸し出し、武雄の優れた文化活動を広く市民に紹介するよう努めます。 ②市民が参加・企画する、たけお音楽祭などを継続して支援します。 ③優秀映画・クラシックのコンサート等の優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供します。	・公募展の募集 ・たけお音楽祭 ・優秀映画鑑賞 ・優れた芸術文化の鑑賞 ・宝石箱コンサート事業 ・アウトリーチ事業	B	B	◆事業内容の充実とイベント情報の発信に努めていただきたい。		
(3) 全国高等学校総合文化祭の受入れと情報発信						
・第43回全国高等学校総合文化祭を盛り上げるため、普及・啓発活動に努めます。	・広報活動（HP、市報等） ・高校生の活動支援	A	A	◆歓迎フラッグ等により高校生らが喜んで参加し、また自ら運営・支援し、とても充実した総文祭になったと思う。		

【重点事項 2】文化財の保護・伝承と活用		自己評価		評価委員の評価		
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価	
(1) 国・県・市指定史跡等の環境維持と活用						
①国・県・市が指定する史跡・天然記念物の環境の維持・保全に努めます。特に竊跡の保全対策を強化します。 ②武雄鍋島家洋学関係資料を適正に管理します。	・竊跡を中心とした文化財の保全体制 ・史跡等のパトロール ・武雄鍋島家洋学関係資料保存事業	A	A	◆今後とも継続して進めていただきたい。	A	
(2) 史跡おつぼ山神籠石の整備						
・史跡おつぼ山神籠石保存整備計画に沿って整備を進めます。	・史跡おつぼ山神籠石保存整備事業	A	A	◆おつぼ山、今まで古墳だとばかり思っていたが、昨年、教育委員会主催の行事に参加して山城だと知った。道路が整備された後、是非市民へのPRをお願いする。		
(3) 無形民俗文化財の支援と発表会の場の充実						
・国・県・市の補助金や各種財団の助成金制度について情報を提供し、保存会活動を支援します。また、武雄市伝統芸能保存連絡協議会を中心に、後継者育成を目的とした発表の場の提供を図ります。	・武雄市伝統芸能保存連絡協議会の開催・支援 ・武雄市伝統芸能まつりの開催・支援	A	A	◆今後とも後継者育成を図り、伝統芸能保存に努めていただきたい。		
(4) 文化財資料の調査と保護						
・本市に所在する重要な文化財を後世に伝えるため、物件の調査を行います。また、文化財保護審議会を定期的に開催し、本市の取り組み状況について説明します。	・文化財保護審議会の開催	A	A	◆今後とも事業の継続に努めていただきたい。		
(5) 開発と埋蔵文化財保護との調整						
・土地の開発に関し、埋蔵文化財保護との調整・指導を行い、埋蔵文化財の保護に努めます。	・市内遺跡発掘調査事業	A	A	◆今後とも継続して実施していただきたい。		
(6) 出土遺物再整理事業への推進						
・過去に発掘調査を行い、出土した市内埋蔵文化財を再整理し、適正に保存・管理、活用できるようにします。	・市内出土遺物再整理事業	A	A	◆今後とも成果物を活用していただきたい。		

基本目標 IV 豊かな学びを支える教育環境の整備

【重点事項 1】安全・安心な教育環境の整備

具体的施策	主要事業名	自己評価		評価委員の評価	
		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 安全・安心な環境づくり					
①PTA等と連携・協力して、不審者、声かけ事案等から子どもたちを守ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校で地域や保護者と連携した定期的な見守り活動の実施</li> <li>安全マップ、緊急時対応マニュアルの確認と見直し</li> <li>「こども110番のいえ」の周知</li> </ul>	A	A	◆PTAや地域で危険箇所等の共有を行うなど、市全体で取り組んでいくことを期待する。	
②通学路の安全確保のため、学校・家庭・地域社会の協力体制のもと、日常点検等を行い、交通事故等の未然防止に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回以上の通学路の安全点検</li> <li>防災の視点からの点検（大雨、地震、ブロック塀等）</li> </ul>	A			
(2) 安全教育の徹底					
①「自分の身は自分で守る」意識の定着を目指し、防犯ブザーの所持徹底を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯ブザーの携帯</li> <li>防犯教室の開催</li> </ul>	A	A	◆今後とも引き続き安全教育の徹底に努めていただきたい。	A
②「全ヘル運動」を実施し、自転車に乗るときのヘルメット着用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「たけおっ子全ヘル運動」の推進</li> <li>交通安全教室の開催</li> </ul>	A			
③安全に関わる訓練を行い児童生徒の危機回避能力を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練等の計画的実施</li> </ul>	A			
④インターネットやスマートフォン等の利用に関するモラルの育成に積極的に取り組みます。また、関係機関、保護者と連携し、児童生徒に適正な利用の指導を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルに関する学習の実施</li> </ul>	A			

【重点事項 2】教育施設・設備の充実

具体的施策	主要事業名	自己評価		評価委員の評価	
		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 教育施設・設備の点検、整備					
①学校環境衛生の基準に基づき、定期検査、臨時検査及び日常の点検を行い、学校における環境衛生の管理に努めます。 また、公民館の定期検査や日常的な点検調査を行い、安全で快適な施設の維持管理に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期環境検査の実施</li> </ul>	A	A	◆引き続き点検活動を実施し、安全安心に努めてほしい。	
②児童生徒が安心して学べる学校生活空間づくり、安心して遊べるための環境整備に努めます。 また、誰もが利用しやすいよう、バリアフリーなどにも配慮した施設づくりに努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種施設の保守点検</li> <li>バリアフリー等、施設の点検</li> </ul>	A	A		
(2) 安全・安心な学校づくり					
①学校施設・設備の定期点検、日常点検で危険箇所や劣化の状況を調査し、安全・安心な学校施設・設備の維持管理に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防設備、電気設備、浄化槽の点検及び維持補修</li> <li>営繕工事の実施</li> </ul>	A	A	◆今後とも安全安心な学校づくりの維持管理に努めていただきたい。	A
②学校の老朽化に伴い、大規模改造工事を行い、安全安心な学校環境整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設環境改善交付金事業（北方小学校大規模改造工事）</li> <li>（武雄北中学校大規模改造工事）</li> </ul>	A			
(3) 安心して学べる快適な社会教育施設づくり					
・公民館、図書館・歴史資料館をはじめとする社会教育施設の整備については、計画的に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育施設整備計画（アセットマネジメント個別計画）の策定</li> </ul>	A	A	◆今後もアセットマネジメント個別計画により施設の在り方を充分検討して進めてほしい。	
(4) アセットマネージメントの推進					
・学校施設、放課後児童クラブ施設について、アセットマネジメントによる個別施設整備計画を策定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセットマネジメント個別計画の策定</li> </ul>	A	A		

基本目標 V 協働する市民総参加による教育の推進

【重点事項 1】地域のよさや伝統を生かした教育の推進		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 地域を生かした教育活動の推進		A	A	◆今後とも推進していただきたい。	A
・地域の「人」「もの」を教育活動で積極的に活用します。	・地域教材等の授業での活用 ・特別非常勤講師制度の活用				
(2) 地域に根ざした学校運営の推進		A	A	◆今後とも推進していただきたい。	
・地域行事への児童生徒の参加を積極的に推進します。	・地域行事への参加推奨				
(3) 地域文化の継承と文化財保護意識の高揚		A	A	◆今後とも文化財保護思想の醸成・高揚を図ってほしい。	
①史跡や伝統文化等が市民にとって身近な学習教材となるよう、出前講座等で現地を案内する機会を増やします。また、文化財への理解を深めてもらうため、老朽化した説明板について修理、更新を進めます。	・出前講座、出前授業の開催 ・市重要文化財等説明板等修理工事				
②文化財防火デー火災防御訓練に協力し、貴重な文化財を保護する精神を育むよう努めます。	・文化財防火デー火災防御訓練				
③武雄らしい風土（歴史的環境）を守り、市民自らが文化財に対する理解を深める文化財保護思想の醸成・高揚を図ります。	・社会科副読本「わたしたちの武雄市」の配布 ・武雄の歴史副読本「すごいで武雄」の活用	A	A	◆今後とも継続し、郷土愛を育てていただきたい。	
(4) 教育と産業が連動した施策の推進		B	B	◆教育と産業という観点では重要であるので、現在の事業を十分に分析して他部署と協議する必要があるのではないか。推進できる方法を模索していただきたい。	
・「教育と産業」を繋ぐ施策として「定住支援」を目的とした奨学金返還補助事業を行います。	・武雄市若者定住促進奨学金返還補助事業				

【重点事項 2】学校・家庭・地域・諸機関・事業所などとの連携の推進		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 学校教育活動の公開		A	A	◆引き続き学校の情報公開に努めてほしい。	A
①「学校運営協議会」「学校関係者評価」を活用し、学校教育活動を積極的に公開します。 ②学校リーフレットや学校ホームページ等で児童生徒の様子を保護者や地域に積極的に公開します。	・学校運営協議会等の開催 ・学校のホームページの活用、更新				
(2) 地域学校協働本部との連携		A	A	◆継続できるような体制づくりに努めてほしい。	
・地域、関係機関との連携を深め、地域学校協働本部の立ち上げなど地域全体で学校を核とした協働活動に取り組みます。	・地域学校協働本部事業				
(3) コミュニティスクールの推進		A	A	◆今後とも連携し学校運営の充実・改善を図ってほしい。	
・学校・地域・保護者が一体となった学校運営協議会の運営を、より強固な体制に構築します。	・コミュニティスクール推進事業				
(4) キャリア教育の推進		A	A	◆「自立する生徒」をつくるのが大切であり、働くよろこびを与えるのが大切。	
①市内外の企業・事業所等や市民の協力を得ながら、職場体験学習、起業家教育を充実させます。 ②武雄の先輩の力を教育活動に活かします。	・職場体験の実施（地元事業所を中心に職場体験）				

【重点事項 3】教育委員会の積極的な情報公開		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 教育委員会の会議の公開		A	A	◆今後とも積極的な情報公開に努めていただきたい。	A
・教育委員会会議の開催日程などを広報し、会議への傍聴を積極的に働きかけ、会議録の公表に努めます。	・会議開催のお知らせ ・会議録の公表				
(2) 公民館活動の積極的な公開		A	A	◆今後とも積極的な情報公開に努めていただきたい。	
・各町公民館から、より地域に密着した行事、話題や出来事などを、公民館だよりやホームページなどで積極的に公開します。	・公民館だよりの発行 ・公民館のブログ、フェイスブックの更新				
(3) 教育委員会の点検評価		A	A	◆事業の目標値設定の方法や、実績の見せ方等を工夫してほしい。	
・教育委員会での自己点検・自己評価を行い、外部の有識者で構成する評価委員会の意見を添えた「武雄市教育委員会点検評価報告書」を市議会へ提出するとともに、ホームページで公表します。	・評価委員会の開催 ・評価報告書の議会提出 ・評価報告書の公表				